

札幌市消防局 救急救命士の生涯研修

救急ワークステーション

救急救命士の知識, 技術の維持・向上・救急現場への迅速な医師搬送

- 救急指導担当の係長職 1名(毎日勤務)
- 救急救命士として現場経験3年以上の職員12名 計13名

平成7年10月に市立札幌病院
の新築移転にあわせて新設



救急救命士生涯研修

＜病院内＞

医師・看護師・救急指導係員の指導
カリキュラム
(指導マニュアル)
研修生の現場実績
研修生の研修経過

＜救急現場＞

救急指導係員の指導
カリキュラム
(指導マニュアル)
研修生の現場実績
研修生の研修経過

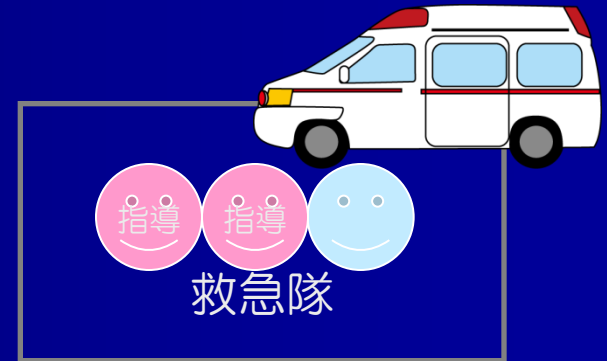
救急救命士本来の活動現場である救急現場で直接指導することにより、行動の統一化や高度化を図る。



運用体制



院内指導の統一化と安全性の確保



技術的側面は、院内と現場で補完するが、実施困難な行為はシミュレーションで補完
院内では、主に症例の院内経過を見て、症例のsummaryで病態理解を深める。

救急救命士生涯研修

【救急担当係長研修】

市立札幌病院 警防救急隊 原則、2当直+2日勤

【救急指導者研修】

市立札幌病院 警防救急隊 救急指導係勤務

【2年次以降研修】

市立札幌病院 警防救急隊 原則、各3当直

【救急隊長研修】

市立札幌病院 警防救急隊 原則、各3当直

消防士長以下の階級

消防司令補昇任

消防司令補の階級

【2年次研修】

テーマ：「傷病者のために何が最善かを自らが考え行動できる」
市立札幌病院 警防救急隊 原則、各3当直

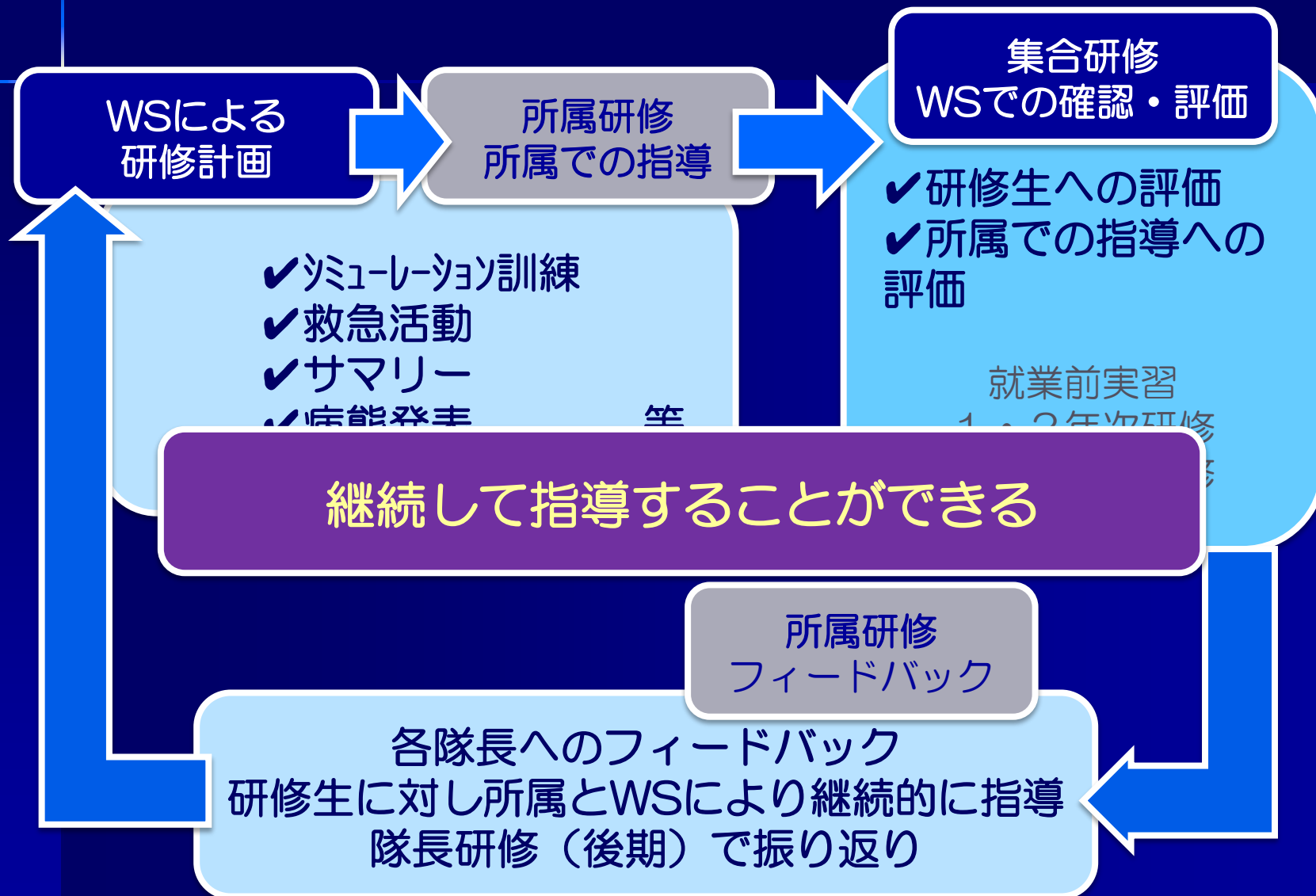
【1年次研修】

テーマ：「連携の重要性を再認識する」
市立札幌病院 警防救急隊 原則、各3当直

【救急救命士就業前病院研修】

テーマ：「人を救命する医療者としての意識付け」
市内3次医療機関5病院での病院実習10当直及び警防救急隊への同乗実習1当直
所属研修：救急車同乗、基本手技訓練、自身で作成したシミュレーション

救急救命士の生涯研修の流れ

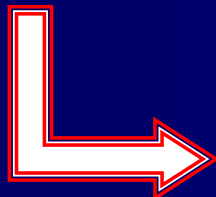


個人シート(隊長との連絡票)

	所属			WS研修		
	良い点	注意点	指導内容	良い点	注意点	指導内容
態度	落ち着きがあり、口調もやさしい	急がなければならないとき、動きが遅く、レスポンスがややなだらか	状況を早期把握し、急がなければならない時とそうではない時のメリハリを持つよう指導した	言うことを素直に受け止める	指導内容を理解しているかが不明	自分の意見を伝えるよう指導
訓練	前向きに取り組んでいる	隊員への指示が不得意	しっかりと指示を出せるよう、自身での状況把握を行うよう指導した	他の研修生の指摘事項を修正しながら訓練しようとする	基本活動を理解していない	一つ一つを自分なりに考え説明できるよう指導
手技確認 (野原指導)	丁寧	手早く手技を行うとき、多少粗雑となる	急ぐときほど丁寧、確実に行うよう指導した		理解不足	血管等のイメージを持ち行うよう指導
院内					理解不足	解らないものはわからないと言うこと
サマリー	あまりサマリーが理解されていないようで、頭で考えていることが文字として表現できていない	しっかりとサマリーを理解していないようだ	サマリーを理解するよう指導した		理解不足	例を提示した。問題リストの上げ方、評価方法、プラン要領等指導
病態		浅い感じ、救命士テキスト以上に知りたい又は知るべきポイントがあまり感じられない	より深く理解すべきポイントはどこなのかを考えるよう指導した		理解不足	12誘導心電図について勉強すること
現場活動	接遇及び活動は良好	傷病者等への説明の際、多少自信がなさそうな感じを受ける	しっかりと説明しなければならない事項は自信を持って、はっきりと説明するよう指導した	傷病者や関係者への接遇は良好です	救急隊長としては力不足。自信の無さが見えます	活動方針を隊にしっかりと伝達するよう指導

指導救命士テキスト

- 知識：指導救命士として幅広い知識
- **技術**：正確な技術や処置



「接 遇」 • 「基本手技」
「観察処置」 • 「安全管理」

- 指導：生涯教育に関する教育技法
- 連携：MCとの協力体制の強化に必要なノウハウ

到達目標：安全確実な救急活動の推進

『 + a 自ら考え行動できる救急隊員を育成 』